

四月八日

六時半起床。朝食をホテル内でとろうとしたが、電話連絡が色々あって、朝食は抜き。八時二〇分福岡空港。昨夜の忍田氏との話で、完全電化ハウス、住宅設備のカンサイ的モデルハウスとして忍田邸を考えようという方針が合意された。換気、排気、循環空気等の為のソフトな装置のデザインは考えたい。柔らかいロボットみたいな建築。そのロボットが擬人化せず、擬建築化しているって感じかな。研究室のシステムに関しては今日、第一段階の決断をする。十時半羽田着。十二時大学。人事小委。十三時栃木の西村氏石山研ゼミ講義。十五時OB野口修来室。十八時東大。技術と歴史研究会。第三回目の今日は中川武先生の講義。エジプト、アジアの古代建築を介して、建築的構想力が如何に共同体を介して表出されるのかと言う問題を考えようとしている事、その問題意識があり得るであろう事が語られた。東大の伊藤先生より、権力と言わずにそれを共同体と敢えて呼ぶところが不思議である、講義後持たれた会食での感想が的を射ていると思った。古代の王権的建築形式を成り立たせていたのは、権力の顕現が建築形式を使用しやすかった事ではないのか。十二時前世田谷村に戻る。今日は午後、雑誌室内の塩野君、時の忘れモノの綿貫氏が来室され、九月に私のスケッチの展覧会を開く事が決められてしまった。マ、六〇才を過ぎたのだから、イイカ。照れずにやってみるか決めた。銅版画の銅版まで置いてゆかれた。

四月九日

イラクで若い日本人三人人質にとられ、自衛隊撤退をテログループより要求されるとの事件起きる。戦争体験の無い我々には、何とも言えぬ。言うことが困難な事件だ。三人は危機に直面するだろう。それぞれボランティア、ジャーナリストの三名だが、戦場へわざわざ身を自ら運んだのだから、当然それなりの覚悟はあったに違いないだろうと憶測するしかない。

九時新宿で石井、上田より白鳥会図面受け取り、その場でチェック。森川と新木場へ。木場木材組合理事長以下近隣の方々への建築説明会。トモ・コーポレーション物流センター計画の説明をする。十三時研究室。青森県白鳥会へのプレゼンテーション準備。十四時前、白鳥会会長夫妻来室。打ち合わせ。図面だけでは理解しにくいのがわかり、すぐ模型を作らせる。一時間弱で模型が作られ、なんとかOKとなる。二人の若者は良く頑張った。このスビードは気持ち良い。モンゴルより海日汗の父君が来室。海日汗博士号取得の礼をかねたごあいさつ。モンゴルの民族衣装一式をいただき、早速着用、記念写真。ブラジルよりアンドレイ城間君来室。研究室は益々外国人でにぎわう事になった。十六時高山夫妻来室。打ち合わせ。高山氏より氏の会社のキャラクター商品、何かいただく。興味深し。十八時修了。その後二十二時半迄、幾つかの打ち合わせ。二十三時四〇分世田谷村に戻る。

四月十日 土曜日

八時半友岡さん親子、石井上田世田谷村来。車で猪苗代へ。郡山インターで東北高速道を降り、ソバ屋で昼食後、十三時前鬼沼現場。前進基地位置出し。五人総掛かりで十六時頃までかかる。

食ならぬ深夜食をとる。

カマ、オノ、つるはし、スキまでくり出しての作業。ハンマーで杭を打ち、業者が整理可能な迄は出来た。十五時地元業者と積算打ち合わせ。十六時過、猪苗代湖畔の浜辺へ。天幕設営。大型テントを張りおえて、十五時前近くの共同浴場へ。十七時半より、たき火をつけて夕食。こんな事は一昨年のおネパール以来だ。二十一時過、食事をおえる。近くのお百姓がくれたネギを焼いたモノが美味であった。満天の星空。二十一時半、寝袋にもぐり込んで眠りに入る。暖かく快適な睡眠。夢も見ず、何も考えず眠った。

四月十一日 日曜日

七時半起床。磐梯山がかすんでいて美しい。十時間ほど深い眠りを得た。ありがたい。朝食はパン。次回の天幕食は石山研で用意したい。九時撤収作業。十時過鬼沼へ。私と友岡社長は縄文遺跡近くの畦道に寝ころんで午睡。若者三名は山へ上る。十二時過眼ざめる。何とマア、自然の中では良く眠れることよ。十二時半、車に戻り、帰途へつく。途中そば屋で昼食。十八時過大学着。正門前で皆と別れ、研究室へ。昨日と今日のメモをノート。鬼沼はアジア工芸村にする予定ではあるが、その前に清秀君の人脈を使って、アジア・メデイーション・センターの構想をトライする積り。二日間浮世離れた生活をさせてもらい、心身共に・・・疲れたけれどエネルギーを注入した。時々はあっても良いな、こういう子供みたいな生活が。研究室には二名程出ていて何かやっていた。明後日から版画とスケッチの制作活動に入るの、その準備をする。二〇時前聖徳寺二代目住職来室。若干の交渉の後八十八人分の永代使用受諾証書を作成してもらい受領。二十二時修了。二十三時過世田谷村戻り。中川さん、栗畑君と共に来宅。証書をお渡しする。何はともあれ一山は越えた。一時修了。遅い夕